

達しています。

憲法改悪を許さない
と、憲法署名は30万73
55人分、大軍拡NO・
新憲法署名も10万937
4人分を集めています。
ミサイル配備や弾薬庫建
設などの基地強化に反対
し、沖縄の米兵による性
犯罪とその隠蔽に全国で
抗議、人権問題として浮
き彫りにしました。自衛
隊による職場体験や校外
学習、名簿提供の中止、
小学校への『はじめての
防衛白書』配布の中止・
回収を学校や教育委員会
に要請しました。ウクラ
イナ侵略やガザでのジェ
ノサイドに各地で抗議
し、国連や国際組織など
に627万円の人道支援
募金を届けました。

(2) 暮らし守れ、被災地支援、原発ゼロへ

「米不足・陳列販売状
況緊急チェック」(77
0人)、「米不足・米価高
騰緊急アンケート」(4
422人)で消費者とし
て社会にアピールし、地
元国会議員や県、国の出
先機関に要請しました。
消費税減税、インボイス
廃止、マイナンバー保険
証強制と現行の健康保険
証廃止反対の共同行動を
つよめています。訪問介
護の介護報酬引き下げな
どに対し全国からリアル
な告発を集め、高額療養
費上限引き上げ計画は凍

結になりま

した。6割
の自治体で
分娩できる
医療機関等
がなく、「タ
クシーの中
で出産」な
どの実態を
示して産科
の確保を自
治体や厚労
省に求め、
県の補助金
を引き出し
ました。

能登半島
地震・豪雨
被災地へ救
援募金4127万円が寄
せられ、被災者や学校の
要望に応え、支援物資を
届けました。各地で「わ
が町は大丈夫?」と防災
学習会や避難所・備蓄ワ
オッチング、自治体や被
災者への聞き取りをおこ
ない、防災体制の改善に
つなげました。「メタン
ガス爆発」など、安全が
確保されない大阪・関西
万博を修学旅行や学校行
事の行き先にしらないよう
教育委員会や学校へ要請
し、中止したところもあ
ります。原発再稼働や使
用済み核燃料保管施設建
設の動きに、住民投票を
求める運動、原発ゼロを
求める集会や学習会、宣
伝がとりくまれました。



埼玉・所沢支部

大軍拡をやめ、暮らし
や社会保障、教育の予算

拡充を求める「秋の行動」
署名は、24年度43万93
58人分、25年度41万4
47人分を国会に届けま
した。各地で自治体へ要
請し、猛暑が続く中で小
中学校の教室や体育館へ
のエアコン設置がすす
み、「コミュニケーションバ
スの運行」「タクシー券
助成制度」「バス停に椅
子の設置を」などが実現。
また、高校受験の機会確
保に「月経随伴症状等」
(月経中、月経前の体調
不良)が含まれる成果も
ありました。

(3) 当事者の声で、ジェンダー平等へ

選択的夫婦別姓制度の
実現へ、衆院選後たち
に始めた署名は9万人
分、地元や国会で与野党
議員に要請し、117人
が紹介議員になりました
た。緊急アンケートには
3979人が回答し、国
会審議で実現を阻む議員
や政党に迫る力になりま
した。議員会館前でとり
くまれた毎週水曜日の共
同行動など、女性たちの
連帯を各地で広げまし
た。離婚後共同親権導入
反対の運動でも当事者ア
ンケートを集め、スタン
ディングや要請、国会傍
聴などをつよめました。
党首による女性べつ視
発言への緊急抗議アクシ
ョンでは、職場班や親子
リズム小組からも行動、
飛び入り参加やSNSを
見て駆けつけ「よびかけ
てくれてありがとう」と
入会、地元メディアも取
り上げ、ジェンダーパッ
クラッシュを許さない機
敏な行動となりました。

コンピニエンスストア
の「成人誌復活」で緊急
調査(324店舗)をおこ
ない、大手3社の本
社や地域のストアの本
社に要請、撤去や縮小が実
現しました。「インター
ネット上のわいせつ広
告」のアンケート(東京)
をもとに省庁交渉、大手
11社が電子コミックの性
的広告の配信を停止しま
した。各県の性暴力被害
者支援や困難女性支援事
業の実態について聞き取
り調査を実施し、政府に
要請しました。



福井・敦賀支部

1階に開設した平塚ら
てう・女性運動資料室は
見学が相次ぎ、歴史と運
動を今につないでいるこ
とへの確信が語られてい
ます。

(4) 次世代の要求で、地域へ国会へ

ジェンダー平等や子育
て・教育をはじめ社会の
動向をすばやくつかみ、
オンラインアンケートも
拡散させて、集めた声を
発信、政府や自治体に
はたらきかけました。こ
うした社会を前に動かす
新婦人の行動に信頼が寄
せられ、行動やSNSを
とおして入会がありまし
た。
不登校アンケートで集
めた声は、次世代国会行
動で少人数学級や保護者
の「不登校離職」など経
済的負担解消をと文科省
に迫りました。学校給食
費無償化の実施自治体が
広がる一方、緊急アンケ
ートでは急激
な物価高騰に
よる給食の質
や量の低下、
値上げの実態
を把握して告
発し、国の制
度としての無
償化と質の維
持を求める運
動を広げてい
ます。

月1回の全
国ミニ交流
は、班や世代
を超え、各地
でしんぶんを

読む会やおしゃべりする
カフェにつながり、出さ
れた要求で自治体要請も
おこなっています。平和
など関心のあるテーマを
学び、フィールドワーク
にもとりこんでいます。
「国会へ行こう」と呼
びかけ、のべ466人の
次世代会員が5度の国会
行動に参加しました。原
水爆禁止世界大会への代
表派遣も直接体験に位置
づけ、被爆80年の今年は
170人が参加、「声を
あげたい」「学びたい」
の思いを実現できる体験
として新しい会員を迎え
ています。

行動を起こせるのは、先
輩たちがすみずみに班、
支部をつくって組織を築
き、ともに維持する努力
があるからです。
今回の全国大会を前大
会時の会員数を超えて迎
えようと、「要求いっぱ
い、会員大募集!」「毎
月前進」にこだわってき
ました。「読者を会員に」
人気の健康マーシャンを
はじめ多彩な要求別小
組、体験会でも「五つの
目的」や新婦人しんぶん
の紹介、原爆ハネルやミ
ニ学習で新婦人を丸ごと
知らせながら、また行動
や運動でも入会者を迎え
ました。「あの人、この
人」とつながりを出し合
い入会をすすめています
。前大会後、新たに1
13班が誕生し、「政治
のおしゃべりができるの
は新婦人だけ」「近所に
班がほしい」との声に仲
間づくりの新たな可能性
をみることができま
す。小組でのしんぶんタイ
ムに挑戦し、音声配信の「は
とラジ」や新婦人しんぶ
ん電子版(PDF)の活
用も始まっています。
一方で、385班、22
支部がなくなるなど組織
存続の困難に直面してい
るところもあります。同
時に「この班、支部をな
くしたくない」「10歳若
い人になくには」「次
世代と一緒に」と努力も
されています。次世代と
の並走の経験に学ぶと
りくみも始まり、一部の
人の悩みにせず、みんな
話し合い、踏み出すこと
がいよいよ求められてい
ます。

第3章 今後2年間の方針

1、魅力いっばいの新婦人

この激動する情勢のも
と、新婦人が役割を果た
せるのは、ほかにはない
特長をもった女性団体だ
からです。
「これからのエチケット
」の立場で政治をタブ
ーにせず、要求と政治・
政党を自由に語れる女性
団体です。
「仲間がいる!」につ
ながる全国組織
新婦人が平和やジェン
ダー平等、要求運動にみ
んなでとりくむことがで
きるの、全国に仲間が
いて、つながっているか
らです。全国に7800